

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	GS202	分類	講義科目
授業科目名	プロトコール	英文授業科目名	Protocol
年度	2025年度	年次	夜間部 2年 ホテル科・ブライダル科
開講学期	前期	授業の方法	講義科目
単位数	1単位	年間授業時間数	16.8時間
科目区分	一般教育科目	授業コマ数	12コマ
担当教員名	東海林 忠博	実務経験なし	備考

経歴

■授業・科目情報

学習目標	プロトコールの基本と実務への応用を理解し、国際的な視野を持つグローバル人材に必要なプロトコール対応力を身につける。 プロトコールに基づく正しい知識・所作・振舞を習得する。 併せてプロトコールの知識と行動力をホテルやブライダルの現場で発揮できるよう、実務能力の向上を目指す。		
教科書	『現代プロトコールの基礎』日本ホテル教育センター編		
授業計画	回数	内容	
	1	オリエンテーション(授業紹介・学習目標・授業の進め方・プロトコールとは何か)	
	2	プロトコールとは何か	
	3	なぜプロトコールを学ぶのか	
	4	プロトコールの活用と代表事例	
	5	国家の象徴－国旗の意味と基礎知識	
	6	国旗掲揚時の注意点	
	7	序列と席次・敬称と呼称	
	8	上位席の基本・会食のプロトコール	
	9	プロトコールとビジネスマナー	
	10	正装－正装の種類とドレスコード 勲章・褒章	
	11	まとめ	
	12	試験	
授業の進め方	授業は単に「章」を追う講義に終始することなく、プロトコールに関わるグローバルな事例や講師自身の体験をもとに、学生の積極的な発言を促し双方向授業の充実を図る。①使用教材はテキスト、ワークシート、パワーポイントを活用する。②学習範囲をテキストに明示し、特に重要な部分には下線を引くよう指導する。③授業2～3回ごとに理解度確認の小テストを実施し知識の定着を図る。		
試験の実施方法	前期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%(10ポイント) ②出席率＝50%(10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とする。		
関連科目			
参考書	『マナー&プロトコールの基礎知識』(日本マナー・プロトコール協会)		
学生へのメッセージ	この科目では、プロトコールが国際交流で果たす役割とその重要性を体系的に学習します。異文化に接する機会が多い人、国際的な業務やイベントに関わる人、中でも特にホテル業界を目指す人にとってはプロトコールを身につけることは必須のスキルになります。この授業を通じてホテル業務ですぐに使える知識とノウハウを身につけ、卒業後は自信をもって業務に臨めるよう共に学んで行きましょう。		

以上